



ホームステイ先のコーナ家の人びと

## アメリカの友だち

中学3年 渋沢 宏美

校長先生のお話の中で宗教や考え方の違う国の人と理解し合うことは難しいとおっしゃっていました。しかし、私と同じ年の女の子たちの会話を聞いていると、芸能人のこと、音楽のこと、友だちのこと…。髪型も気にすれば体重も気にするし、日本での私たちの会話と全く同じ。

違う国の人と友だちになるということは、想像以上に簡単なことかもしれないと思う。



ドイツの短期交換学生 クリスチアーノさんと シカゴのホテルで

## 広大な地—アメリカ

中学3年 石原 貴子

私がアメリカに着いてまず驚いたのは、空港の広さです。そして、道路の広さに驚き、畑の広さに驚き、毎日が大きさを広さへの驚きの連続でした。

そして、今私がアメリカへのホームステイを終えて思うことは、この小さな日本から広い広い世界へと、いつか旅立ち、世界を舞台として活躍できたらいいな、ということです。



何百キロ走っても同じ景色が広がるハイウェイ(アメリカ)

## 海外研修

4人のおみなさんの感想を紹介します。

今回参加した、

## スケールの大きさ・人びとの暖かさに感動

町教育委員会ではこの夏休みに中学生2人と教職員2人の海外研修を実施しました。どちらも国際感覚豊かな人材育成を目的とするもので、教職員は今年で2回目、中学生は今年が初めてです。

これらの海外研修事業はこれからも継続して実施する予定です。

## 出合いの素晴らしさ

白浜小教諭 小林 孝子

この夏私は『米国研修講座』に参加させていただいた。大学での二週間の研修、二度のホームステイ、二都市の観光と充実していたが中でも印象に残っているのがホームステイ。見ず知らずの私を温かく迎えてくれ、昔からの知人の様に接してくれたファミリーの優しさに対し、感謝の気持ち

## 紳士の国へ……

中学教諭 木内 弘幸

7月25日から一ヶ月間、英国の社会研修に参加させて頂きました。研修は講義のほか、施設・史跡を訪ねる小旅行、ホームステイなど盛りだくさんの内容でした。必死の英語がどうにか通じた時の感動と何でも親切に教えてくれた英国の人びとを忘れる事はできません。慢性的な「英国病」



ホームステイ先のベルナルド一家

にもめげぬ「ジェントルマン」たちの「余裕」を肌で感じてきました。



一度めのホームステイ、ブレイク家の人びとと共に

全国防犯運動(ブルーゾーン運動) 10月11日～10月20日